

第四期特定健康診査等実施計画

東リ健康保険組合

最終更新日：令和 8 年 08 月 05 日

特定健康診査等実施計画（令和6年度～令和11年度）

背景・現状・基本的な考え方【第3期データヘルス計画書 STEP2から自動反映】

No.1	- 被扶養者の特定健診受診率がほぼ横ばいである。 - 被扶養者の特定保健指導実施率が低い。 - 特定保健指導該当率がほぼ横ばいである。 - 内臓脂肪症候群該当者割合がほぼ横ばいである。 - 保健指導対象者減少率が低い。	→	- 特定保健指導対象者へのアプローチ強化 - 特定保健指導リピーターへの対策導入 - 若年層向けアプローチを検討
No.2	45歳以上の被保険者の医療費が高い - 被保険者の糖尿病、高血圧の医療費が高い。 - 被扶養者の新生物医療費が高い	→	- 特定保健指導指導の内容見直し、効果測定 - ハイリスクアプローチによる医療機関受診率の向上 - 健診補助見直し、がん検診補助を手厚く
No.3	組合員のヘルスリテラシーが低く、健保事業への参加が消極的である。	→	- 個人ポータル登録者数アップ - 個人ポータルサイトを活用した情報発信 - ICTの活用により組合員が事業に参加しやすい体制づくり

基本的な考え方（任意）

-

特定健診・特定保健指導の事業計画【第3期データヘルス計画書 STEP3から自動反映】

1 事業名 健康診断補助（被保険者・被扶養者）

対応する健康課題番号 No.1, No.2



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：18～74、対象者分類：被保険者/被扶養者
方法	・各自で健診機関へ予約を行い、補助利用申請を提出して各自で受診する
体制	-

事業目標

・人間ドックおよびがん検診等オプションの費用補助を行い、特定健診受診率の向上とでがん検診の推進を図る。

評価指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
アウトカム指標						
内臓脂肪症候群該当者割合	13.0 %	13.0 %	13.0 %	13.0 %	13.0 %	13.0 %
アウトプット指標						
特定健診受診率	86.0 %	86.0 %	88.0 %	88.0 %	88.0 %	88.0 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
・被保険者および被扶養者が選択できる健康診断の中から1つを選択して受診する。・第1四半期中に案内の配信または送付を行う。・補助内容の見直しまたは継続を検討する。	・被保険者および被扶養者が選択できる健康診断の中から1つを選択して受診する。・第1四半期中に案内の配信または送付を行う。	・被保険者および被扶養者が選択できる健康診断の中から1つを選択して受診する。・第1四半期中に案内の配信または送付を行う。
R9年度	R10年度	R11年度
・被保険者および被扶養者が選択できる健康診断の中から1つを選択して受診する。・第1四半期中に案内の配信または送付を行う。	・被保険者および被扶養者が選択できる健康診断の中から1つを選択して受診する。・第1四半期中に案内の配信または送付を行う。	・被保険者および被扶養者が選択できる健康診断の中から1つを選択して受診する。・第1四半期中に案内の配信または送付を行う。

2 事業名 特定健診（被扶養者）

対応する健康課題番号 No.1, No.2



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被扶養者
方法	・希望者が健康保険組合へ申請を行い、各自で受診
体制	・健保にて受診券を発行

事業目標

・被扶養者に受診者費用負担なしで特定健診を受診してもらい、特定健診受診率の向上へつなげる。

評価指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
アウトカム指標						
被扶養者内臓脂肪症候群該当者割合	4.0 %	4.0 %	4.0 %	4.0 %	4.0 %	4.0 %
アウトプット指標						
被扶養者特定健診受診率	50.1 %	50.1 %	57.3 %	57.3 %	64.4 %	64.4 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
・特定健診、被扶養者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に配偶者の自宅へ案内を送付する。	・特定健診、被扶養者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に配偶者の自宅へ案内を送付する。	・特定健診、被扶養者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に配偶者の自宅へ案内を送付する。
R9年度	R10年度	R11年度
・特定健診、被扶養者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に配偶者の自宅へ案内を送付する。	・特定健診、被扶養者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に配偶者の自宅へ案内を送付する。	・特定健診、被扶養者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に配偶者の自宅へ案内を送付する。

3 事業名 配偶者健診（被扶養者配偶者）

対応する
健康課題番号

No.1, No.2, No.3



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被扶養者
方法	・日本医学協会より被扶養配偶者の自宅へ案内を送付する
体制	・日本予防医学協会へ委託する

事業目標

- ・被扶養配偶者に特定健診項目と1オプションを費用負担なしで受診してもらい、特定健診受診率の向上へつなげる。

評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
評価指標	被扶養者内臓脂肪症候群該当者割合	4.0 %	4.0 %	4.0 %	4.0 %	4.0 %	4.0 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	被扶養者特定健診受診率	50.1 %	50.1 %	57.3 %	57.3 %	64.4 %	64.4 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
・特定健診、被扶養者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に配偶者の自宅へ案内を送付する。	・特定健診、被扶養者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に配偶者の自宅へ案内を送付する。	・特定健診、被扶養者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に配偶者の自宅へ案内を送付する。
R9年度	R10年度	R11年度
・特定健診、被扶養者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に配偶者の自宅へ案内を送付する。	・特定健診、被扶養者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に配偶者の自宅へ案内を送付する。	・特定健診、被扶養者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に配偶者の自宅へ案内を送付する。

4 事業名 被保険者健診（被保険者）

対応する
健康課題番号

No.1, No.2



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：18～74、対象者分類：被保険者
方法	・利用申請があった者へ日本医学協会より勤務先へ案内を郵送する
体制	・日本予防医学協会へ委託する

事業目標

- ・特定健診項目と1オプショを受診者費用負担なしで受診してもらい、特定健診受診率の向上へつなげる。
- ・若年層を中心としたがん検診等のオプションを手軽に受けたい方の受け皿とする。

評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
評価指標	被保険者内臓脂肪症候群該当者割合	14.5 %	14.5 %	14.5 %	14.5 %	14.5 %	14.5 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	被保険者特定健診受診率	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
・事業主健診（法定健診）、被保険者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に案内の配信を行う。	・事業主健診（法定健診）、被保険者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に案内の配信を行う。	・事業主健診（法定健診）、被保険者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に案内の配信を行う。
R9年度	R10年度	R11年度
・事業主健診（法定健診）、被保険者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に案内の配信を行う。	・事業主健診（法定健診）、被保険者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に案内の配信を行う。	・事業主健診（法定健診）、被保険者健診、人間ドックの中から1つを選択して受診してもらう。・第1四半期中に案内の配信を行う。

5 事業名 特定保健指導（被保険者・被扶養者）

対応する
健康課題番号

No.1, No.2, No.3



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：基準該当者
方法	・健康保険組合で特定健診結果を階層化し、対象者へ案内を送付する ・WEB面談やアプリの利用等ICTを活用する ・人間ドック補助利用の補助条件とし、補助利用者は強制実施とする
体制	・SOMPOヘルスサポートへ委託する

事業目標

- ・特定保健指導対象者実施率を上げることで生活習慣病リスク保有者を低減する。

評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
評価指標	特定保健指導対象者割合	16.8 %	16.8 %	16.4 %	16.4 %	16.0 %	16.0 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定保健指導実施率	40.0 %	45.0 %	50.0 %	55.0 %	60.0 %	60.0 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
・特定健診結果を階層化し、該当者へ健保より案内を送付する。・リピーター対策としてSOMPO以外の業者の導入を検討する。	・特定健診結果を階層化し、該当者へ健保より案内を送付する。・新業者によるリピーター向け保健指導を開始する。	・特定健診結果を階層化し、該当者へ健保より案内を送付する。
R9年度	R10年度	R11年度
・特定健診結果を階層化し、該当者へ健保より案内を送付する。	・特定健診結果を階層化し、該当者へ健保より案内を送付する。	・特定健診結果を階層化し、該当者へ健保より案内を送付する。

6 事業名

XMLデータ

対応する
健康課題番号

No.1



事業の概要

対象	対象事業所：全て, 性別：男女, 年齢：40～74, 対象者分類：基準該当者
方法	・健診結果データをXMLデータ化して取り込みを行う
体制	・健康診断実施医療機関へXMLデータ作成を依頼する。 ・紙結果については（株）ケーシップへパンチ入力を委託する。

事業目標

・健診結果データをXMLデータ化して取り込みを行うことで効率よく国への報告データの登録を行う。							
評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	内臓脂肪症候群該当者割合	13.0 %	13.0 %	13.0 %	13.0 %	13.0 %	13.0 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定健診実施率	86.0 %	86.0 %	88.0 %	88.0 %	90.0 %	90.0 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
・健診結果データをXMLデータ化して取り込みを行う。 。	・健診結果データをXMLデータ化して取り込みを行う。 。	・健診結果データをXMLデータ化して取り込みを行う。 。
R9年度	R10年度	R11年度
・健診結果データをXMLデータ化して取り込みを行う。 。	・健診結果データをXMLデータ化して取り込みを行う。 。	・健診結果データをXMLデータ化して取り込みを行う。 。

達成しようとする目標／特定健康診査等の対象者数								
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査実施率	計画値 ※1	全体	1,371 / 1,594 = 86.0 %	1,371 / 1,594 = 86.0 %	1,403 / 1,594 = 88.0 %	1,403 / 1,594 = 88.0 %	1,435 / 1,594 = 90.0 %	1,435 / 1,594 = 90.0 %
		被保険者	1,147 / 1,147 = 100.0 %	1,147 / 1,147 = 100.0 %	1,147 / 1,147 = 100.0 %	1,147 / 1,147 = 100.0 %	1,147 / 1,147 = 100.0 %	1,147 / 1,147 = 100.0 %
		被扶養者 ※3	224 / 447 = 50.1 %	224 / 447 = 50.1 %	256 / 447 = 57.3 %	256 / 447 = 57.3 %	288 / 447 = 64.4 %	288 / 447 = 64.4 %
	実績値 ※1	全体	1,353 / 1,578 = 85.7 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被保険者	1,142 / 1,173 = 97.4 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被扶養者 ※3	211 / 405 = 52.1 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
特定保健指導実施率	計画値 ※2	全体	92 / 230 = 40.0 %	103 / 230 = 44.8 %	115 / 230 = 50.0 %	126 / 230 = 54.8 %	138 / 230 = 60.0 %	138 / 230 = 60.0 %
		動機付け支援	39 / 97 = 40.2 %	44 / 97 = 45.4 %	49 / 97 = 50.5 %	53 / 97 = 54.6 %	58 / 97 = 59.8 %	58 / 97 = 59.8 %
		積極的支援	53 / 133 = 39.8 %	60 / 133 = 45.1 %	67 / 133 = 50.4 %	73 / 133 = 54.9 %	80 / 133 = 60.2 %	80 / 133 = 60.2 %
	実績値 ※2	全体	114 / 243 = 46.9 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		動機付け支援	59 / 112 = 52.7 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		積極的支援	55 / 131 = 42.0 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %

※1）特定健康診査の（実施者数）／（対象者数）

※2）特定保健指導の（実施者数）／（対象者数）

※3）特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。

目標に対する考え方（任意）	
-	
特定健康診査等の実施方法	
-	
※特定健診・特定保健指導の事業計画の欄に、第3期データヘルス計画書STEP3 から自動反映されている場合は任意	
個人情報の保護	
-	
特定健康診査等実施計画の公表・周知	
-	
その他（特定健康診査等実施計画の評価及び見直しの内容等）	
-	